

<子どもの手で広げるメタボさよならプロジェクト>

活動の名称 **メタボさよならプロジェクト**

団体等の名称 **豊田市立広川台小学校**

活動に含まれる（連携している）団体等

- 幼稚園 保育所 小学校 中学校 高等学校 中等教育学校 特別支援学校
- 児童館 公民館 図書館 PTA 子育て・教育支援団体、NPO 企業・事業所
- 病院・保健所 早寝早起き朝ごはん運動・家庭教育支援に関する実行委員会・協議会
- 行政（教育委員会） 行政（保健・福祉部局） 行政（その他の部局）

活動の概要

◆ 活動の目的・趣旨

豊田市では、25年度から生活習慣病の予防対策として全小・中学校で腹囲測定を実施している。本校は、モデル校として小中連携した集団及び個別の指導に取り組んでいる。21年度から開始した「メタボさよならプロジェクト」集会を中心に、小1から大人まで楽しみながら早寝・早起き・朝ごはんの大切さを学ぶ機会としている。

◆ 主な活動内容

1 全校が楽しみながら学ぶ保健集会「メタボさよならプロジェクト」

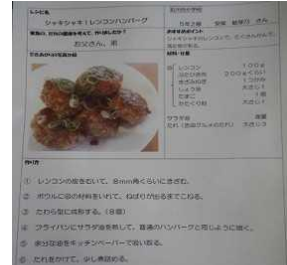
毎年、委員会の児童と劇の台本を考え、楽しく自分の生活を振り返る工夫をしている。28年度は「サザエさんの家族みんなで健康宣言」をテーマに、腹囲測定の意味や遅寝・遅起きが健康に良くない理由、和食の朝ごはんが日本人の体に合っている秘密をクイズで楽しく学んだ。集会の中で発表・表彰する「生活習慣病予防カルタ」「家族みんなで健康レシピ」は、美里中学校区全部の学校で募集し、集会で発表した。



和食の大切さを呼びかける児童



美里中学校区生活習慣病予防カルタ



家族の健康を考えたレシピ

2 豊田市役所地域保健課と連携した保護者対象の体験コーナー



血管年齢を計る保護者

地域保健課と連携して保護者対象の「健康作りに関する体験コーナー」を開催した。8つの体験を通して、保護者は現在の生活を反省し、健康を守るため家族みんなで健康チャレンジをしようという意欲をもった。

3 トロロ班(縦割り班)を中心に自己有用感を高める

トロロ班で1年から6年までお互いを思いやりながら遊びや運動を行い、人とかわる喜びを味わう中で、「人の役にたっている」「人から認められている」「自分は価値のある存在である」といった自己有用感を高めている。



みんなで楽しくトロロっ子体操

◆ 活動の成果と今後の展望

メタボさよならプロジェクト集会で高まった意識を、保健学習や食の学習でさらに深め、地域保健課との連携により、保護者の意識も高まっていった。腹囲・血圧測定で抽出された個別指導児は、小中で継続指導を行うことで腹囲・肥満度が改善されている。今後も美里中学校区の全学校、地域保健課と連携し、「みさと」の「みんな」の健康づくりの輪を広げたい。